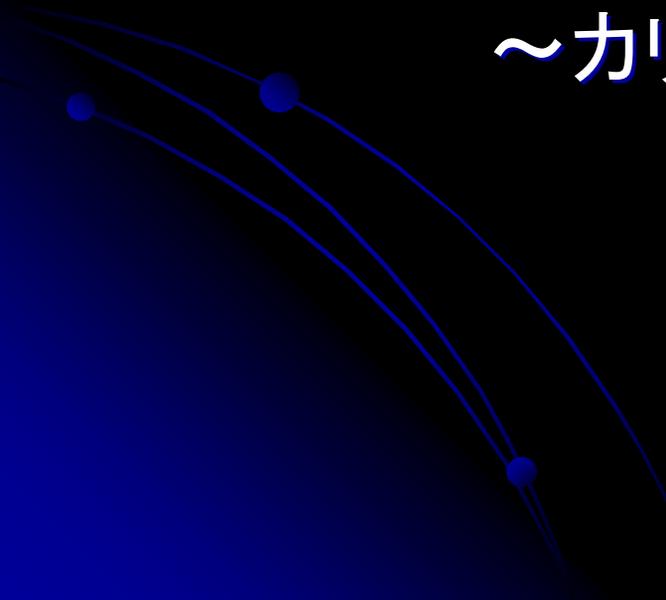


# 電力規制緩和？

～カリフォルニアの悪夢～



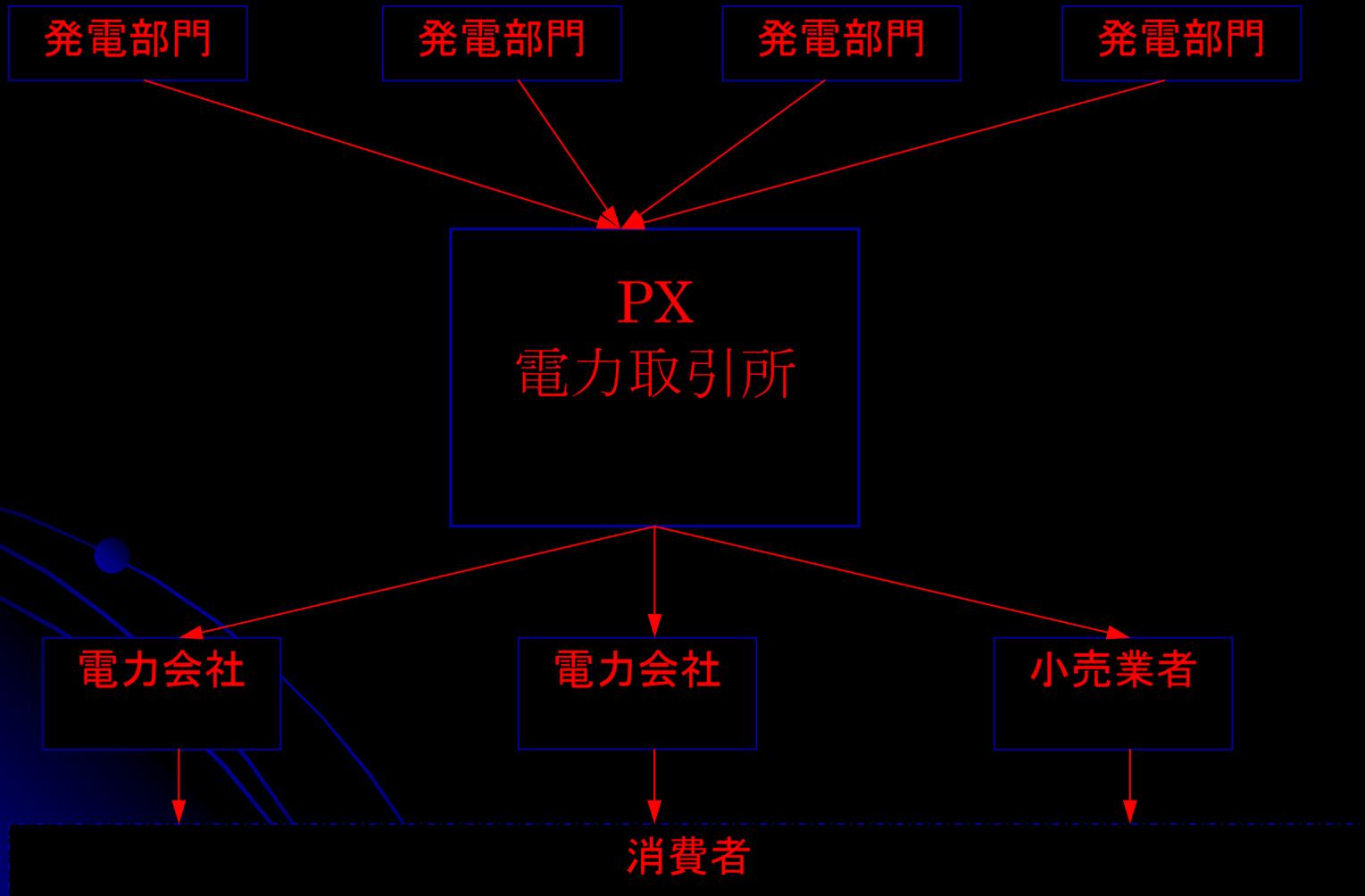
# 要約

- 1996年、カリフォルニア州では電力自由化法案によって電気料金引き下げを図った。

## ※法案の特徴

- ①電力会社の解体
- ②小売価格の制限(プライスキャップ)
- ③電力の競売

# 電力市場の仕組み



# ところが・・・

- 電力供給の減少・天然ガス価格高騰などの理由により卸売価格高騰。



- プライスキャップとの釣り合いが取れず、停電が起こった。



- さらに、電力供給者が意図的に供給を抑え、独占利潤を作り出すようになったことで、大手電力会社パシフィックガス電力社が破産する結果となった。

# ～規制緩和は失敗する？～

- 他地域での規制緩和でも同じ結末になるか？  
→そんなことはない

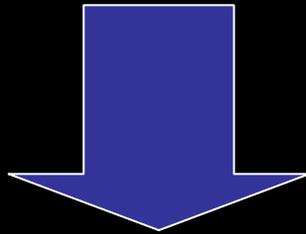
なぜなら・・・

カリフォルニアの場合、

- ・自由市場を大きくし過ぎた  
→公益性が失われた
- ・需要増加・供給減少で超過需要の発生  
→価格高騰
- ・プライスキャップの負担が大きすぎた  
...規制緩和とは言い難い

# まとめ

- カリフォルニアでは価格引下げを図って電力規制緩和を実施
- ところが、過大な自由市場のために価格高騰
- さらに、プライスカップが厳しく、逆効果



規制緩和は計画的に！